

令和8年用 JAさがえ西村山

果樹病害虫防除暦 (さくらんぼ・りんご・西洋梨・ぶどう・もも・すもも)



安全・安心なくだものを消費者へ

- 農薬を使用する際は、農薬の使用基準を遵守し、適正に使用してください。
- 農薬の使用基準は、農薬容器のラベルに記載されています。使用に際しては、ラベルをよく読んで確認してください。
- 農薬は散布面積に応じた適正量に調合し、薬液が残ることがないようにするとともに、農薬を希釈する際は、水道水または汚染の可能性がない水を利用しましょう。
- 散布後は、調合タンクやホースに農薬が残らないよう散布器具をきれいに洗浄してください。
- この基準は、令和7年10月1日現在の農薬登録内容に基づき作成しています。登録内容に変更が生じた時は、変更された内容に準じて使用してください。

農薬散布時の危被害を防止しましょう

- 農薬を使用する際は、使用者及び栽培作物に対する危被害防止に加え、周辺住民及び環境に対しても、万全な安全対策を講じてください。
- 散布に当たっては、飛散による危被害発生防止のため、散布時間帯及び散布方法に留意するとともに、周辺農作物や周辺環境、風等の気象条件を十分考慮してください。

1. 植物成長調整剤

薬剤名(成分名)	適用作物	使用目的	使用時期	使用濃度	注意事項
エコルーキー (ギ酸カルシウム)	りんご	摘花	満開日 (追加散布を要する場合は2~3日後に1回)	100~150倍 10a当たり300~600ℓ	1. 結実が非常に良い地帯を除いては人工受粉を実施する。 2. 使用回数2回以内
ヒオモン水溶剤 (1-ナフタレン 酢酸ナトリウム)	りんご	収穫前落果防止	収穫開始予定日21~4日前 (但し、2回散布の場合には10日程度間隔をあける)	1,000~2,000倍 10a当たり300~600ℓ	1. 高温時の散布は避ける。 2. 調整した薬液はその日のうちに使用する。 3. 使用回数2回以内

2. 交信かく乱剤(性フェロモン剤)による防除方法

(1) 剤の種類と対象害虫

薬剤名	作物名	10a当たり設置量	対象害虫								
			ハマキムシ類			シンクイムシ類			その他害虫		
			ミダレカクモンハマキ	リンゴカクモンハマキ	リンゴモンハマキ	モモシンクイガ	ナシヒメシンクイ	スモモヒメシンクイ	コスカシバ	ヒメコスカシバ	ヒメボクトウ
コンフューザーN	果樹類	150~200本		○	○	○	○				
	すもも	200本						○			
ハマキコン-N	果樹類	150本	○	○	○						
スカシバコンL	果樹類	40~100本							○		
	かき	40~100本								○	
ナシヒメコン	果樹類	50~100本					○				
ボクトウコン-H	果樹類	100~150本									○

(2) 使用方法

- 設置場所は、目通りの高さに8割、残り2割を上部に、園内均一に設置する。
- 傾斜地では、傾斜上部の設置割合を1~2割多くする。
- 小面積で使用する場合や園周辺部で被害の多い場合は、園周辺の立木、支柱などにも設置する。
- 風の強い場所では、フェロモンの流亡を防ぐため、防風ネットなどを利用する。
- 高温時は成分の揮発が早いので、必要に応じて追加設置する。

3. 果樹園用主要除草剤使用基準

除草剤名(成分名)	適応樹種	10a当たり使用量(散布液量)	年間の使用回数	使用時期	主な特性と作用	注意事項
バスタ液剤 (グルホシネット18.5%)	りんご、ぶどう、なし、もも、とうとう、小粒核果類、かき、くり、ネクタリン、ブルーベリー、キウイフルーツ	一年生雑草 300~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ (キウイフルーツ、くり、500~750mℓ) 水量 100~150 ℥	2剤の使用回数の合計 3回以内	くり 収穫30日前まで りんご・ キウイフルーツ 収穫21日前まで 他樹種 収穫前日まで	1. 一年生及びスギナ、クローバー等に効果が大きい。オオバコ、ギシギシは効果が劣る。 2. 効果の発現は2~5日後、効果の持続期間は40~50日である。	1. 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布する。 2. 雜草の生育期(草丈30cm以下)に散布する。
				くり 収穫30日前まで りんご・ キウイフルーツ 収穫21日前まで 他樹種 収穫前日まで	1. 一年生雑草及び多年生雑草まで効果が大きい。 2. 効果の発現は2~3日後、効果の持続期間は40~50日間である。	
ザクサ液剤 〔グルホシネットP〕 〔ナトリウム塩11.5%〕	果樹類	一年生雑草 300~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 100~150 ℥	3剤の使用回数の合計 3回以内	収穫7日前まで	1. ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤなど多年生宿根雑草に効果が高く、一年生雑草にも効果が高い。スギナには効果が劣るので少量散布とする。 2. 効果の発現は2~7日後、効果の持続期間は60~70日である。	1. 専用ノズル(ランドノズル)を使用し、散布むらのないようにする。 2. 展着剤は加用しない。 3. 雜草の生育期(草丈30cm以下)に散布する。 4. 多年生雑草が局部的に発生している場合はスポット処理する。 5. 効果の発現が遅いので、処理後7~10日間は刈り払ったり耕したりしない。 6. 秋処理(11月中下旬)は翌春の除草効果が高い。
				収穫7日前まで	1. ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤなど多年生宿根雑草に効果が高く、一年生雑草にも効果が高いが、スギナには効果が劣る。 2. 効果の発現は7~14日後、効果の持続期間は60~70日である。	
ラウンドアップマックスロード 〔グリホサート〕 〔カリウム塩48%〕	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草 200~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ スギナ 1,500~2,000mℓ 水量 通常散布 50~100 ℥ 少量散布 25~50 ℥	3剤の使用回数の合計 3回以内	収穫5日前まで	1. 一年生雑草からヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。 2. 効果の発現は、一年生雑草では2~4日後、多年生雑草では7~14日後、効果の持続期間は50~60日である。	
				収穫5日前まで	1. 一年生雑草からヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。 2. 効果の発現は、一年生雑草では2~4日後、多年生雑草では7~14日後、効果の持続期間は50~60日である。	
草枯らしM I C 〔グリホサートイソプロピル〕 〔アミン塩41%〕	果樹類 (かんきつ、パイナップルを除く)	一年生雑草 250~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 通常散布 50~100 ℥ 少量散布 25~50 ℥	3剤の使用回数の合計 3回以内	収穫5日前まで	1. 一年生雑草からヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。 2. 効果の発現は、一年生雑草では2~4日後、多年生雑草では7~14日後、効果の持続期間は50~60日である。	
タッチダウンiQ 〔グリホサートカリウム〕 〔塩44.7%〕	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草 250~500mℓ 水量25~100 ℥ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量25~100 ℥ スギナ 1,500~2,000mℓ 水量25~50 ℥		収穫5日前まで	1. 一年生雑草からヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。 2. 効果の発現は、一年生雑草では2~4日後、多年生雑草では7~14日後、効果の持続期間は50~60日である。	

◎詳しくは、営農指導員・JAアグリ各店にご相談下さい。

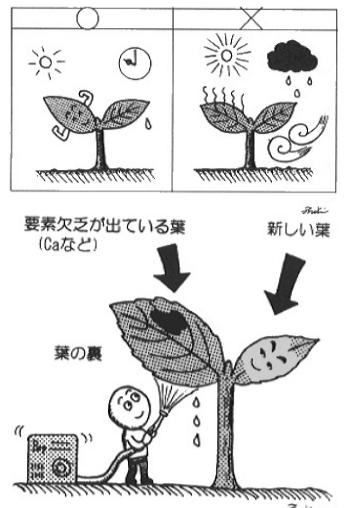
果樹用葉面散布剤のご紹介

1. 葉面散布

植物は根だけでなく、葉からも養分を吸収することができます。葉面散布は、葉から直接養分が吸収されるので施用効果が速やかに現れます。しかし、葉面散布は応急対策であり、適切な施肥や土壌管理が基本です。

<葉面散布をすると効果がある場合>

○ 濡害などで根から養分がよく吸収できなくなったとき ○ 要素欠乏を急いで治すとき ○ 葉色を濃くしたいとき



2. 敷布時期

散布するのは、葉面吸収の盛んな午前中がよく、朝つゆが乾いたら散布します。日中の高温時は、薬害がでやすいので避けてください。降雨前や風の強いときにも散布は避けてください。

3. 敷布濃度

市販の葉面散布剤を用いるときは指示された方法で散布します。

濃度が高いと葉焼けなどの障害が生じますので、幼植物や生育の衰えたときは薄くします。

4. 敷布方法

養分吸収は、葉の表面より裏面のほうが多いので裏面にも散布します。古い葉より新しい葉のほうが吸収が盛んなので新葉を中心に散布します。カルシウムのように移動しにくい要素は、欠乏の現れている葉に散布します。

5. 主な果樹用葉面散布剤

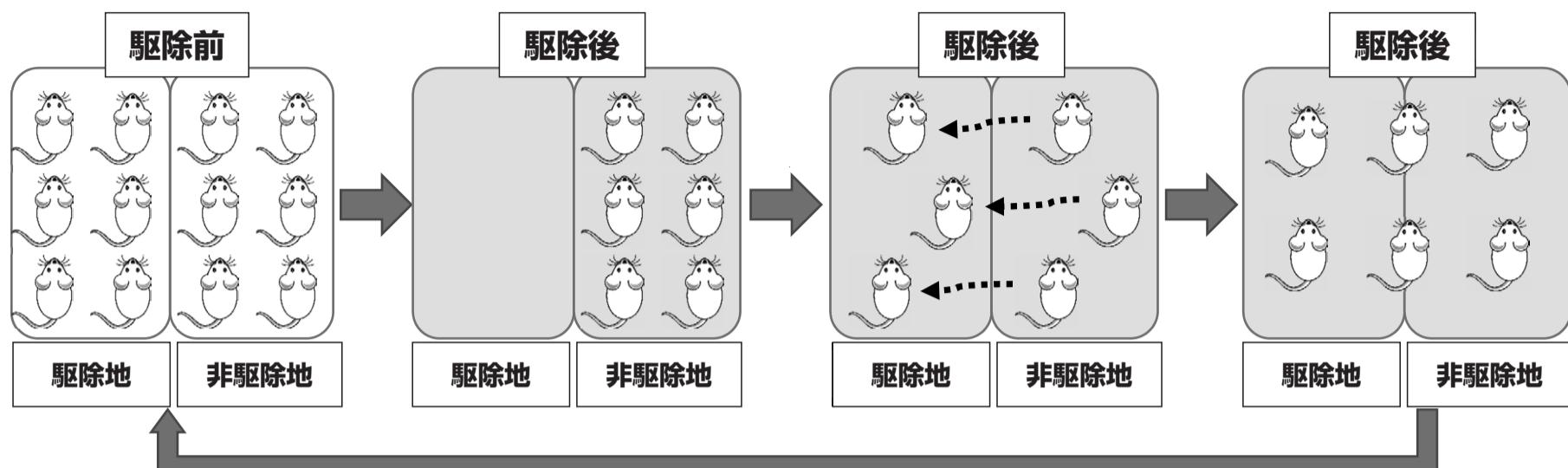
名 称	保 証 成 分 (%)			作 物	施 用 時 期	使 用 濃 度	摘 要	主 な 効 果				
	N	P	K					樹勢回復	着色増進・品質向上	生理障害防止	その他	
ヨーヒB5号	2	5	4	Mg-3, B-5, Fe-0.1 Cu-0.07, Mo-0.2	りんご、もも、 おうとう、なし、 ぶどう、うめ	開花3日後 果実肥大期 収穫後	単用 農薬混用	600倍 1,000倍	結果促進 果実肥大 樹勢回復	○	○	○
ヨーヒP12号		12	1	B-0.5, Ca-3	りんご、ぶどう、 おうとう	花芽分化期前 収穫1ヶ月前～着色期	単用 農薬混用	600倍 1,000倍	花芽分化増進 着色増進	○	○	○
エイトピー	2.5	5.5	Mn-0.25, B-8, Fe-0.13, Cu-0.03, Zn-0.068	おうとう	開花直前～肥大期 (4～5回)	1,000～2,000倍		結果促進 ミゾ玉軽減 肥大・果梗の充実	○	○	○	
					収穫後 (2～3回)			花芽の充実 貯蔵養分の蓄積				
				ぶどう	開花10日前～ (2～3回)			花振い予防	○	○		
					落花後 (2～3回)			肥大促進 初期生育向上				
				すもも	落花後 (2～3回)			ホウ素欠対策		○		
トップスコア・リン	28	13	Mg-3	おうとう	収穫20日前、10日前 (2回)	1,000～2,000倍		着色・糖度向上、 肥大促進	○	○	○	
					収穫後7～10日毎 (2回)			花芽充実、 貯蔵養分促進				
				ぶどう	落花直後から連続 (3回)			着色、糖度向上	○			
				りんご(ふじ)	9月上旬、中旬 葉つみの7～10日前まで(2回)							
				りんご(つがる)	葉つみの5～10日前まで (1～2回)							
葉友	5	0.1	0.5	約20種類のアミノ酸の凝縮液	もも	収穫20日、10日前 (2回)	単用 農薬混用	1,000倍 2,000倍	植物生理活性 果実肥大 着色増進	○	○	
モーニングA (液肥29号)	2	7	1	B-0.5 効果発現促進剤:Ca-0.31	りんご(早生、中生)	収穫15日～20日前	500～600倍に希釈して、 樹全体に散布する。	着色促進 品質向上				
					りんご(ふじなど晩生種) かき、なし	収穫30日～40日前			○			
					おうとう	着色初期 収穫7日前						
					もも	収穫15日～30日前						
					ぶどう	とびの入った頃 水まわり期、着色初期						
バイカルティ				カルシウム(CaO)=34% ギ酸カルシウム-80 (有機酸カルシウム) 高分子カルシウム-20	果樹類	落花直後から	1,000倍	生理障害防止 カルシウム補給 乾燥促進		○	○	
					もも	落花直後 又は落花10日後から (10日毎3～4日)		軟化防止		○		
サンバリア				カルシウム(CaO)=26%以上 ルチン配合 (ポリフェノール)	りんご	スポット的に ・葉とり、玉回し前に2～3回	1,000倍	ビターピット 果面荒れ 日ヤケ 果点荒れ		○	○	
アイスピリア	1.5	1.0	Mg-1.5	果樹類	霜・低温の直前 芽出し10日後から2～3回	300～500倍	霜・低温対策				○	
液体マンガン				水溶性マンガン-13.5	ぶどう	軽度障害園 重度障害園	ジベレリン処理液に1%濃度 (ジベレリン処理液2ℓ に対して14.5mℓ)で加用し、 浸漬処理する。 0.5%液(水200ℓ当り750mℓ) を200ℓ/10a散布する。 ジベレリン処理液に1%濃度 (ジベレリン処理液2ℓ に対して14.5mℓ)で加用し、 浸漬処理する。	着色障害予防 房枯れ予防				
									○			
マリンパワー	0.071	0.016	0.05	Ca-0.027	おうとう		収穫直前散布 更に7日後	2,000倍 3,000倍	うるみ防止			
アクアカル				有機酸カルシウム-12	おうとう、りんご、 ぶどう	落花後～果実肥大期	単用 農薬混用	500倍 1,000倍	うるみ防止、 ビターピット軽減、 脱粒防止		○	
ビビッドグリーン	7	6	4	苦土1% 海藻エキス入り	果樹類	展葉初期～果実肥大期 (3～5回)		500倍	樹勢強化 成葉化促進	○		
ビビッドレッドC	0	8	7	海藻エキス入り	果樹類	着色初期～収穫初め		500倍	着色促進	○		
ベストII	6	10	2	海藻ペーストと魚肉抽出物入り	おうとう	収穫直前、更に5日後		500倍	着色増進	○		
ストピットII				水溶性カルシウム (CaOとして35%以上)	りんご	落花直後又は10日後頃から 収穫前までの間に3回以上		500倍	生理障害予防、 油上がり抑制		○	
カネカペチド	10	10	10	酸化型グルタチオン	おうとう	5月下旬～6月上旬(2回)		10,000倍	高温・乾燥対策			
マリンインパクト	0.1		3.0		果樹	落花後～果実収穫始期		1,000倍	樹勢回復 高温・乾燥対策	○	○	
ファイトカル	5			有機キレートカルシウム 10.5% 保湿浸透剤	果樹	果実肥大期～収穫前日まで		1,000倍	果実軟化防止			
ファイトプラス	3.0		7.0		果樹	着色始期		1,000倍	着色促進	○		

*他農薬との混用の可否等もございますので、詳しくは、営農指導員・JAアグリ各店にご相談ください。

1. 広域一斉防除の実施

ネズミには、季節や作物の生育段階により、餌を求めて移動しながら被害をもたらす種類もあります。自園で対策を講じても、周辺で増加したネズミがある時期突如侵入し被害ももたらすことがあります。新たなネズミの侵入を防ぐために広域で一斉防除を実施しましょう。

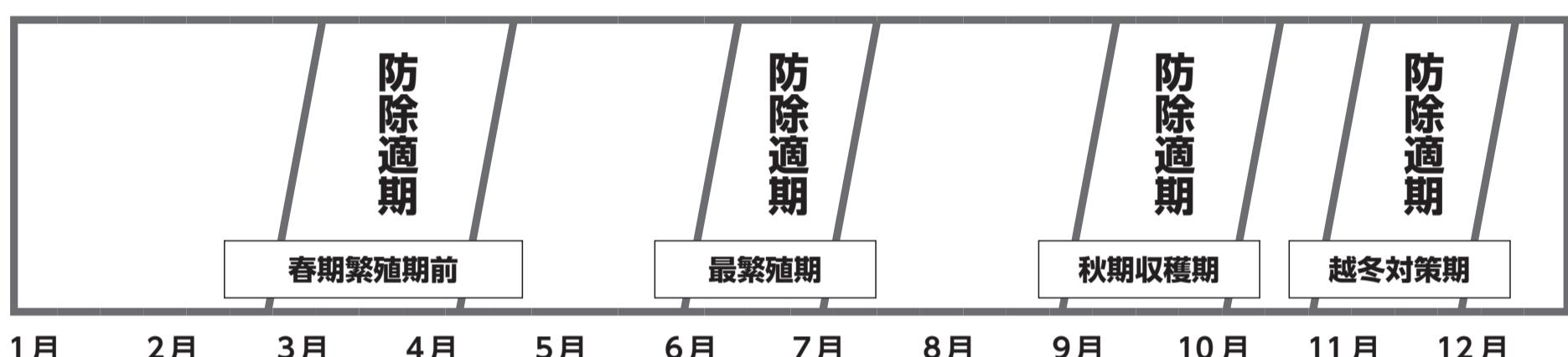
(参考) 駆除地へのネズミの侵入モデル図



2. 防除時期と回数

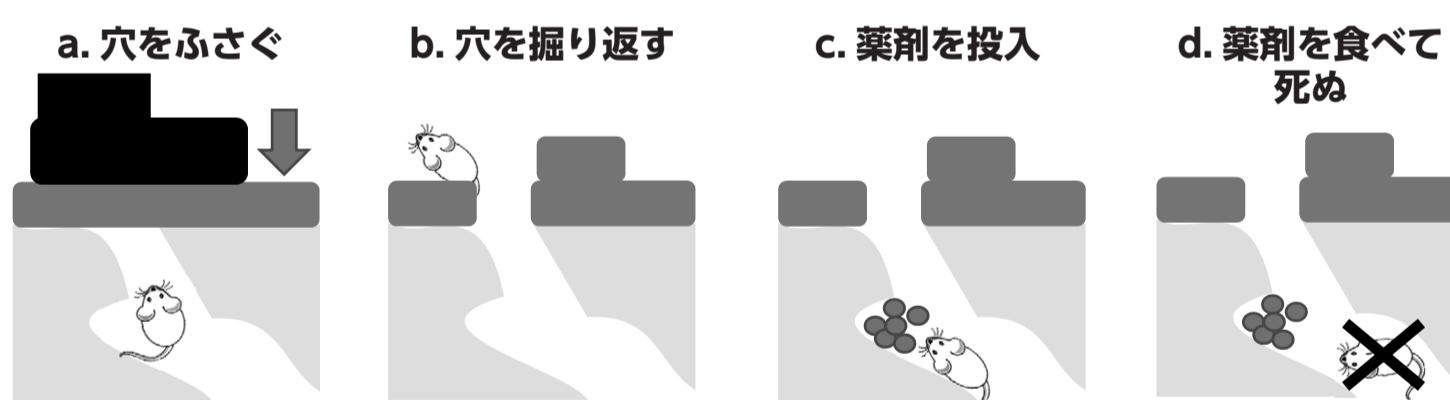
防除時期は、春期繁殖前及び秋季収穫後の防除が主体となります。

果樹苗木への被害防止に向けて、薬剤及び耕種的防除を徹底しましょう。



3. 薬剤の効果的なまき方

下図のように、薬剤をまく前日に空いている穴を全部ふさぐ。防除当日、空いた穴に薬剤を投入する。ネズミのいる場所に効率的に投入できます。



4. 薬剤の種類と散布量

ねずみは人の臭いを警戒するため、殺そ剤を使用する際は必ず手袋を着用して下さい。
タバコや香水等の臭いのするものは、絶対付着しないよう注意して下さい。

薬剤名	特徴	使用量
ヤソヂオノ (劇) 【規格 500g】 【果樹用 10g × 50 包】 【畑作用 5g × 100 包】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 累積毒 (一定量食べて死亡) ■ 抗血液凝固作用により内臓器官の出血・充血により死亡 ■ 効果が現れるまで 2~3 日かかる 	果樹用 10g 袋 20~30 包 / 10a 畑作用 5g 袋 40~60 包 / 10a
Z・P 1% 【規格 1kg】 【粒状】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 急性毒 (1回だけ食べて死亡) ■ 摂取後胃酸によりリン化水素ガスが発生、3~5 時間で死亡する。 	50~200g / 10a
強力ラテミン (劇) 【規格 1kg】 【粒状】		1~2g (15~30 粒) / 穴 (30~150g / 10a)

※絶対に家ねずみ用として使用しないで下さい。

※ネコやイヌ等のペットによる殺そ剤の破損や誤飲には十分注意して下さい。

※誤って人が食べた場合は、すぐに医師の診断を受け、適切な対処を行って下さい。

薬液100ℓ当たり農薬希釈早見表

倍率	10倍	20倍	25倍	30倍	40倍	50倍	100倍	200倍
薬剤量 g・mℓ	10,000 (10ℓ・kg)	5,000 (5ℓ・kg)	4,000 (4ℓ・kg)	3,333 (3.3ℓ・kg)	2,500 (2.5ℓ・kg)	2,000 (2ℓ・kg)	1,000 (1ℓ・kg)	500
倍率	250倍	300倍	500倍	600倍	750倍	800倍	1,000倍	1,200倍
薬剤量 g・mℓ	400	333	200	166	133	125	100	83
倍率	1,500倍	2,000倍	2,500倍	3,000倍	4,000倍	5,000倍	8,000倍	10,000倍
薬剤量 g・mℓ	66	50	40	33	25	20	12	10

農薬相談窓口

- ・営農企画部 営農指導課 ☎86-8184
- ・寒河江営農生活センター ☎86-8186
- ・大江営農生活センター ☎62-3217
- ・朝日営農生活センター ☎67-3535
- ・西川営農生活センター ☎74-2127
- ・河北営農生活センター ☎72-2125
- ・JAアグリ寒河江店 ☎83-5055

※平日午前9時～午後5時まで受付いたします。

さがえ西村山農産物安全・安心対策推進会議

寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町

J A さ が え 西 村 山

さがえ西村山果樹振興協議会

J A 全 農 山 形

N O S A I 山 形



無断転載禁止